

川崎市道路維持修繕計画

実施プログラム（2024年度～2028年度）

【自由通路編】

令和6年3月

川崎市

1. 施設の現状

本市が管理する自由通路は 6 箇所あります。令和 3 年度には津田山駅自由通路が完成し、令和 6 年度から移管を受け、7 箇所を管理することになります。また、令和 6 年度には稲田堤駅自由通路が完成する予定です。

	
自由通路（武蔵小杉駅連絡通路）	自由通路（鹿島田駅自由通路）

2. 管理手法

管理手法は、「予防保全型」、「機能保全型」、「定期更新型」、「対症療法型」の 4 つの分類を継続します。

表 2.1 管理手法分類

管理手法		解説
計画的な維持管理	予防保全型	定期的な点検等により施設状態を把握し、損傷程度が <u>予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい段階</u> で計画的に対策を実施し、常に一定の健全度を保持する。
	機能保全型	定期的な点検等により施設状態を把握し、損傷程度が <u>早期に措置を講ずべき段階</u> で対策を実施する。
	定期更新型	定期的な点検等により施設状態を把握し、施設の機能・安全性を確保する前提で、設定した <u>耐用年数</u> によって対策を実施する。
対症療法型		道路パトロールや陳情により施設状態を把握し、損傷程度が <u>緊急に措置を講ずべき段階</u> で必要な対策を実施する。

3. 対象施設の管理手法・管理方針

3.1 自由通路の管理手法

自由通路は、予防保全型の管理手法とします。

3.2 老朽化対策における基本方針

(1) 管理区分

本市の自由通路は、鉄道駅と一体になって機能している重要な施設であることから、全ての自由通路を同一の管理区分とします。

表 3.1 管理区分

管理手法	管理区分
定期更新型	－
予防保全型	全施設
機能保全型	－
対症療法型	－

(2) 管理指標

自由通路は「橋梁定期点検要領（平成 31 年 3 月、国土交通省道路局）」を基にした本市要領（令和 5 年度）にて、4 段階の健全性の判定区分で診断されており、これを管理指標とします。

表 3.2 管理指標

健全性の判定区分		状態
I	健全	自由通路の機能に支障が生じていない状態。
II	予防保全段階	自由通路の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
III	早期措置段階	自由通路の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。
IV	緊急措置段階	自由通路の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。

(3) 管理水準

自由通路は予防保全型で管理するため、管理水準は予防保全段階である健全性Ⅱとし、健全性Ⅰの維持を目指します。

表 3.3 管理手法、管理区分、管理指標、管理水準の関係

管理手法	管理区分	管理指標 健全性の判定区分		
—		I	健全	目標とする健全性
予防保全型	全施設	II	予防保全段階	管理水準
機能保全型		III	早期措置段階	
対症療法型		IV	緊急措置段階	

(4) 優先順位

自由通路は、鉄道駅と一体になって機能している重要な施設であることから、施設の重要度は全施設同一としますが、各部材の特性を考慮し健全性及び損傷の状態から対策の優先順位を判断し、適切に修繕を実施することとします。

4. 実施プログラム

(1) 計画期間

実施プログラムの計画期間は、維持修繕計画の第3期として、2024年度（令和6年度）から令和2028年度（令和10年度）の5年間を対象とします。

(2) 点検計画

5年に1回、近接目視による定期点検を実施します。

点検時には高所作業車などが必要となり、部材の損傷を評価する必要があることから専門業者への委託による作業とします。なお、鉄道敷地内においては、鉄道事業者の協力を受け点検を進めます。

(3) 実施プログラム

2024年度（令和6年度）から2028年度（令和10年度）の5ヵ年における自由通路の実施プログラムは次のとおりです。なお施設の劣化状況等により、施工時期が変更になる場合があります。

自由通路

施設名	区	建設年度	面積(㎡)	点検結果		次回点検年度	対策年度					具体的対策内容
				実施点検年度	判定区分		2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	
							R6	R7	R8	R9	R10	
川崎駅中央通路	川崎区	1988年	3833.9	2022年	Ⅱ	2027年			維持工事			伸縮装置補修工、外壁補修工等
川崎駅中央通路(延伸部)	幸区	1991年	1153.0	2022年	Ⅱ	2027年			上記に含む			上記に含む
川崎駅北口通路	川崎区 幸区	2018年	1250.0	-	-	(2024年)						(点検は移管元と調整)
鹿島田駅自由通路	幸区	2004年	576.0	2018年	Ⅱ	2023年				維持工事		外壁補修工等
武蔵小杉駅連絡通路	中原区	2013年	498.3	2022年	Ⅱ	2027年		維持工事				
武蔵溝ノ口駅南北自由通路	高津区	1996年	853.0	2018年	Ⅱ	2023年			維持工事			伸縮装置補修工、外壁補修工、手すり補修工等
登戸駅南北自由通路	多摩区	2006年	654.0	2018年	I	2023年						
津田山駅自由通路	高津区	2021年	133.64	-	-	(2028年)						(点検は移管元と調整)
対策に係る全体概算事業費									117,220千円			